

2021年度（2022年3月期） 第1四半期連結決算概要および通期見通し

1.2021年度 第1四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント 減収減益：減収は2期連続、減益は3期連続（純利益ベース）

都市ガス販売量	+189百万m ³	:工業用（発電専用）需要家の稼働増 高気温影響による家庭用需要減
電力販売量	+627百万kWh	:卸先の需要増などによる販売量増
売上高	△74億円	:原料費調整に伴う都市ガス単価減などによる「ガス」の売上減等
営業費用	△51億円	:原油価格下落影響などによる「ガス」の原材料費減等
営業外損益	△25億円	:支払利息 △8億円 受取配当金 △6億円 等
特別損益	+47億円	:(当期) 発生なし :(前期) 減損損失 △47億円

※ 2020年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、
2020年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

<2021年6月末現在連結会社数：連結子会社 108社、持分法適用関連会社15社> (単位:億円)

決算実績表	2021年度1Q	2020年度1Q	増減	%
売上高 (歴代7位)	4,082	4,156	△74	△1.8
営業費用	3,830	3,881	△51	△1.3
営業利益 (歴代16位)	251	274	△23	△8.3
経常利益 (歴代17位)	231	280	△49	△17.7
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代18位)	158	163	△5	△3.5

<参考値> (符号は利益に対する影響を示す)

スライドタイムラグ(※)	△118	△75	△43
年金数理差異償却額影響	27	2	25

(※)原料費調整制度において原油価格の上昇(下落)に伴う原材料費の増加(減少)が売上高の増加(減少)に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2021年度1Q	2020年度1Q	増減
為替レート(¥/\$)	109.52	107.64	1.88
原油価格(\$/bbl)	66.91	32.26	34.65
平均気温(°C)(※)	17.8	16.6	1.2

(※)お客さまそれぞれのご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したもの。

(2)都市ガス・電力販売量

		2021年度1Q	2020年度1Q	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m ³	722	819	△97	△11.9
	業務用	百万m ³	440	425	15	3.5
	工業用	百万m ³	1,324	1,031	293	28.4
	計	百万m ³	1,764	1,456	308	21.1
	他事業者向け供給	百万m ³	359	380	△21	△5.6
合計	百万m ³	2,845	2,656	189	7.1	

家庭用：高気温影響による需要減

業務用：前期の新型コロナ影響等による需要減から回復傾向

工業用：発電専用需要家の稼働増

他事業者向け供給：供給先稼働減

小売お客さま件数(千件)：8,818 (対前期△226) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。

取付メーター数(千件)：12,103 (対前期+128) ※取付メーター数は、休止中・開栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数。

		2021年度1Q	2020年度1Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	2,091	2,148	△57	△2.6
	卸他	百万kWh	3,766	3,083	683	22.2
	合計	百万kWh	5,858	5,231	627	12.0

小売：収益認識に関する会計基準の適用に基づく計量方法変更による減

卸他：卸先の需要増等

小売お客さま件数(千件)：2,788 (対前期+331) ※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

(3)セグメント別売上高・セグメント利益 (単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2021年度1Q	2020年度1Q	増減	%	2021年度1Q	2020年度1Q	増減	%
ガス	2,732	2,849	△117	△4.1	212	277	△65	△23.4
電力	812	891	△79	△8.9	35	29	6	19.1
海外	205	119	86	71.6	57	27	30	106.5
エネルギー関連	692	726	△34	△4.7	21	14	7	54.1
不動産	140	111	29	26.1	42	32	10	31.4
その他	240	266	△26	△10.0	△8	13	△21	-
調整額	△741	△809	68	-	△102	△117	15	-
連結	4,082	4,156	△74	△1.8	259	278	△19	△6.8

(注)・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。

・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。

・「ガス」の主要な製品・サービスは、都市ガス、リキッドガス事業(液化石油ガス、産業ガス)、LNG販売、トレーディング等。

・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、EPC事業(エネルギー事業(EPC事業、EPCサービス等)、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等。

・「その他」の主要な製品・サービスは、情報処理サービス、船舶等。

(4)主要計数 (単位:億円、%)

	2021年度1Q	2020年度1Q	増減		2021年度1Q	2020年度1Q	増減
設備投資	467	362	105	D/Eレシオ	0.98	0.92	0.06
営業キャッシュ・フロー	644	597	47	ROA	0.6	0.6	0.0
有利子負債	11,561	10,659	902	ROE	1.4	1.4	0.0

(注)有利子負債、D/Eレシオは2021年3月末との比較

2.2021年度 通期見通し <対前回(4.28)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回 増収増益 対前期 増収増益(純利益ベース)

都市ガス販売量	+222百万m ³	:発電需要増に伴う工業用の増等
電力販売量	+939百万kWh	:卸販売量増等
売上高	+1,360億円	:「ガス」の売上増+1,175億円(販売単価増等)、「電力」の売上増+397億円(卸販売単価増等)等
営業費用	+1,310億円	:「ガス」の営業費用増+1,201億円(原材料費単価増等)等
営業利益	+50億円	:海外+71億円(販売単価増等)、電力+28億円、ガス△26億円等

※2Q以降の経済フレーム(原油価格55\$/bbl→65\$/bbl、為替レート105円/\$→110円/\$)

		今回	前回	増減	%	2020年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)		12,276	12,054	222	1.8	12,990	△714	△5.5
電力販売量(百万kWh)		27,579	26,640	939	3.5	24,761	2,818	11.4
売上高		19,520	18,160	1,360	7.5	17,651	1,869	10.6
営業費用		18,600	17,290	1,310	7.6	16,874	1,726	10.2
営業利益		920	870	50	5.7	776	144	18.4
経常利益		830	720	110	15.3	705	125	17.7
親会社株主に帰属する当期純利益		600	520	80	15.4	495	105	21.2

経済フレームほか	今回	前回	増減	2020年度	増減
為替レート(¥/\$)	109.88	105.00	4.88	106.10	3.78
原油価格(\$/bbl)	65.48	55.00	10.48	43.35	22.13
平均気温(°C)	16.4	16.1	0.3	16.5	△0.1
スライドタイムラグ(億円)	△248	△185	△63	△121	△127

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度(2Q以降) (単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	24	32	△8
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	17	32	△15